

中学校国語 全体考察

中学校国語 A（主として「知識」に関する問題）

「話すこと・聞くこと」について

◇目的に応じて資料を効果的に活用して話すことや、話すための材料を人との交流を通して集めることについては定着しています。

◆相手にわかりやすいように語句を選択して話すことについては、全国平均をやや上回ってはいますが、正答率から見ると課題があります。

「書くこと」について

◇目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることについてはよく定着しています。

「読むこと」について

◇文章の要旨を捉えることや文章の表現の仕方について自分の考えをもつことについては定着しています。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について

◆楷書と行書との違いや、行書の特徴を理解することについて課題が見られます。
＜問題ごとの考察を参照＞

中学校国語 B（主として「活用」に関する問題）

◆表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことについてはかなり課題が見られます。＜問題ごとの考察を参照＞

中学校国語 問題ごとの考察

1 調査問題 A

（楷書と行書との違いや、行書の特徴を理解しているかどうかをみる問題）

1 ^{かいしよ}楷書と比較したときの説明として最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から一つ選びなさい。

- 1 楷書とは異なり、毛筆で書くことができる書体。
- 2 楷書とは異なり、筆脈を意識せずに書くことができる書体。
- 3 楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。
- 4 楷書よりも速く書くことができる書体。

2 「和」の  で囲まれた部分の㉞と㉟の特徴の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から一つ選びなさい。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 ㉞ 筆順の変化 | ㉟ 点画の連続 |
| 2 ㉞ 点画の省略 | ㉟ 直線的 |
| 3 ㉞ 点画の省略 | ㉟ 点画の連続 |
| 4 ㉞ 筆順の変化 | ㉟ 直線的 |



(1) 学習・指導の状況

中学校の書写指導では、社会生活に役立つ書写の能力を養うため速く書く能力の育成がねらいの一つになっています。行書の指導については、作品を仕上げることに重点が偏りがちですが、行書の特徴を伝統的な文字文化として理解して書くことが大切です。

(2) 授業改善に向けて

同一の文字で楷書と行書を比較し、点画や筆使いの違いを考えたり、筆を持たずに書字運動を行って運筆速度の違いを実感したりするなど、点画の省略・連続性や筆順の違いなどにより行書が楷書より速く書くことに適していることを理解する指導が必要です。また、書写の配当時数は少ないので、中学校3年間を見通した系統的な指導計画を立てることも大切です。

2 調査問題B

(表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかどうかを見る問題)

【本の紹介カード】にある「比喻を用いた表現」に着目して【本の一部】を読み、感じたことや考えたことなどを【読書の記録】に書いています。あなたなら【読書の記録】の〈心に残った一文〉と〈感想〉にどのようなことを書きますか。条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1

〈心に残った一文〉は、【本の一部】から、比喻を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。

条件2

〈感想〉は、条件1で取り上げた表現について「誰の(何)の」、「どのような」様子なのかを明確にした上で、あなたが考えたことを具体的に書くこと。

【読書の記録】

書名 スコアレNo.4
著者名 宮下奈都

〈心に残った一文〉

〈感想〉

【本の紹介カード】

自分らしさって何だろう……

古道具屋を営む家に生まれた仲のよい三姉妹。でも、麻子(私)は、自由奔放な妹の七葉との違いをいつも感じています。そのような中で少しずつ自分らしさを見付けていく麻子の成長の物語です。

スコアレ No.4
宮下奈都

比喻を用いた表現も素敵です!

1
青山さんは、学園雑誌「図書」の編集員の手伝いをした「本の紹介カード」を見て、書棚の上の本を眺めながら、次は、その本に青山さんが読んだ「本の紹介カード」と、青山さんが読んだ「本の紹介カード」を記入して、あじろ印刷に送る。

(1) 学習・指導の状況

〈心に残った一文〉を書く問題では、【本の一部】から、比喻を用いた表現が含まれる一文を抜き出していない生徒が見られました。比喻の意味や用法の理解が不十分だったり、一文の抜き出しが正確でなかったりしたための間違いだと考えられます。

(2) 授業改善に向けて

文学的な文章を読んで自分の考えたことを具体的に書く際には、なぜそのように考えたのか、登場人物の言動の意味を捉えたり、場面の展開や登場人物の描写を理解したりして、根拠を明確にして書く指導を行うことが必要です。また、内容を理解するには、文章に具体的に表れている比喻や反復などの表現の技法に着目しながら作品を読む指導が大切です。